

令和2年12月18日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

調査事項

放課後児童クラブの運営状況等について

～内容～

放課後児童クラブの運営において、現状や課題等について調査を行いました。

～質疑～

**問：受け入れている児童は、地区によって、1年生から3年生、1年生から6年生と
なっているが、保護者のニーズに合った運営ができているのか。**

答：希望する児童を全員は受け入れられていないのが現状である。支援員の数の問題であったり、施設の問題であったり、厳しい状況である。欠席ローテーション等を取り入れているが、十分にニーズにあった状況ではない。

問：施設の問題の状況はどうか。

答：小学校には空き教室がなく、公民館やプレハブも検討しているが、それぞれ課題がある。公民館においては、講座があったり、会合があったりで使用には至っていない。また、プレハブについては、新設する場所の確保ができない状況がある。

問：国の補助金をうまく活用しているのか。統一して運用できないのか。

答：各児童クラブで、受入児童数、開所日数、開所時間等が違うので、補助金が上手に活用できるところもあれば、できないところもあり、統一しての活用は難しい。例えば、処遇改善の補助においては、開所時間が18時30分以降との条件となっているが、その時間の開所が難しいところもあり、全ての児童クラブが活用できるわけではない。

問：子育て王国をうたっていることもあり、対策が必要ではないか。

答：各運営委員会から、アドバイスがほしいとの相談もあり、指定管理委託している事業であるが、可能な範囲で、情報提供をしながら積極的に関わっていきたい。